



日本共産党広島県委員会は、7日、大平よしのぶ衆院中国比例予定候補が実行委員長をつとめる「ピース！ホープ！つながる！希望フェス」を開催し約400人が参加。100人を超える真ん中世代や若者、子どもたちの笑い声があふれました。

ステージでは、吉良よし子参院議員のトークライブや赤旗の笹川記者との一問一答、文化企画やクイズ、真ん中世代地方議員の座談

会と続き、作業所の皆さんのパン販売や新鮮野菜の産直市、健康コーナーからキッズコーナー、広島のたたかいと党の歴史がわかる『広島民報』全号展示など「共産党が大切にしていることがよくわかる会だった」（参加者感想）、楽しく元気の出るお祭りとして大成功でした。

会場で30代女性の入党や高校1年生の民青加盟など新しい仲間も。「共産党を大きくして自民党を倒したい」「とても楽しかった。次回も期待してます」などたくさんの感想が寄せられました。



TOPICS

広島カキ大量死 直接支援が急務

カキ生産量全国1位の広島県の養殖カキが大量死している問題で、大平氏は11月27日、東広島市安芸津町のカキ養殖業者を訪ね、被害状況について聞き取りました。

業者の男性は「これほどの被害は初めて。9割以上がへい死し、来年の稚貝も壊滅的な被害。一刻も早く原因を究明してほしい」と訴え。大平氏は「災害級の問題。一刻を争って直接支援が実現するように全力をあげたい」と話し、2日には県へ緊急支援を求める要請を行いました。



学費値上げ止めよ 若者政府交渉

11月25日、中国地方の青年たちによる、大学の学費値上げを止めるために教育予算の抜本増額を求める文部科学省への要請が行われ、大平氏も同席しました。



山口大学は10月、学生や教職員らの抗議の声を押し切り、来年度からの年間10万を超える授業料引き上げを決定。同大学に通う学生は「これ以上の学費負担は無理」「国の責任で学ぶ権利の保障を」とうったえました。大平氏は緊急に1千億円の予算措置で学費値上げの連鎖を止めよと求めました。

吉良よし子議員に要請文を手渡す

各地でつどいを開催中

11/16

岡山県
女性後援会
つどい

